

SOTOKU

崇徳学園同窓会
関東支部
会報
— 第22号 —

発行：崇徳学園同窓会関東支部 編集：支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20

http://www.geocities.jp/sotoku_kanto/ mail:sotoku_kanto@yahoo.co.jp

ホテル機山館
TEL (03) 3812-1211(代) FAX (03) 3816-1218

第三の開国の時代か、担うのは人、すべての基礎は教育です — 幅広い人材教育の母校をみんなで支援しましょう!! —

崇徳学園同窓会関東支部会長 黒川 弘

(昭和33年卒)

日本も世界も激動の時代です。中東やアフリカ等での紛争、EUや米国の財政金融危機、中国の尖閣列島周辺の動き、北朝鮮の核実験等、また地球的規模での異常気象の激化です。各国指導者も3月プーチン露大統領、4金正恩北朝鮮第一書記、11オバマ米大統領再選、11習近平中国共産党主席、12朴槿恵韓国大統領で、我が国も総選挙で12月第二次安倍晋三内閣が誕生。安倍総理は強い日本を目指し、金融・財政・成長戦略の経済対策と教育再生を最大の政策課題とし、1月には「教育再生実行会議」を設置。第一次安倍内閣は06年9月発足後ただちに「教育再生会議」を設置しましたが、体調の悪化で1年で退陣され、報告書は麻生内閣の08年に提出され、『教育は国家百年の大計。「知・徳・体のバランスのとれた教育環境」が整備され、健やかな子供が生まれることが国民の願い』とし、提言の実現のため「社会総がかりでの国民的参加、特に家庭・地域・学校の連携の強化が大切」とし、これに基づき脱ゆとり教育、中学の武道必修などが実現しましたが、今回の「教育再生実行会議」は具体化の推進でしょうか。安倍総理は所信表明で「教育再生」とは、子どもたちが、「夢」を実現する意志を持って、自分たちの道を歩んでいけるよう手助けするもので、その主役は子どもたちと発言されました。知徳体の一体統合の全人格教育を目指す母校の役割は一層大切になると思います。

助けあい支えあいの仏教精神のもと文武両道の全人格教育を目指す母校は、本年も将来を担う高校398名、中学87名の新入生諸君を迎えました。また高校卒業は399名で、3月1日卒業式でしたが、大学進学でも、国公立大48名、私立大等525名の合格者と大活躍です。国公立大では大阪大、北海道教育大、島根大3、岡山大、広島大5、山口大12、愛媛大2、大分大、首都大学東京、県立広島大4、広島市立大7等が、関東私立では早大2、慶応義塾大、青山学院大、明治大、中央3、法政2、日大9、専修6、東洋4、東海9、順天堂大学、成蹊大等70名余が合格、関西では関西大学16、関西学院大6、同志社大4、立命館大12、竜谷大26等が、また地元広島では、広島経済30、広島工業95、広島国際31、広島修道86、東広島近畿14、比治山9、広島文化学園4、広島都市学園4、福山大6等への合格が報道されています。進学の同窓の方々のご発展を期待します。スポーツでも母校は幅広く大活躍ですが、東京でも本年1月5日の埼玉アリーナの第44回全国バレー選抜大会、3月19日の日本武道館での第35回全国柔道選手権個人戦の60kg級と無差別級には母校の元気な後輩が活躍され、関東の同窓も熱の籠った激戦を応援しました。今年の夏には東京で国民体育大会が開催され、多くの後輩のご活躍を期待し、応援に駆け付けたいと思います。

さて関東支部は500名余の会員ですが、昨年の第25回目の総会は7月7日(土)に大本同窓会長、吉田校長、高橋理事長、内田近畿同窓会長等のご出席のもと盛大に挙行され、懇談会では大本会長の尺八での玄人肌での校歌吹奏がありました。また会員全員の楽しい近況報告もあり、連帯の輪の中「二葉山」の校歌斉唱と記念写真で盛大に締めくくりましたが、本年の総会は7月5日(金)の夕方の開催です。本部の同窓会長、校長、理事長の三役にもご出席いただく予定で母校の活動報告もあります。青壮老の皆様の幅広い出席で第26回の総会を大いに盛り上げましょう。大学生は無料です。声を掛け合いのご参加や一人でものご参加も歓迎します。

昨年11月の広島の本部同窓会の総会には私と渡部、室崎副会長、幸田、今朝丸幹事が出席し、私が乾杯の音頭と関東支部の現況の報告をしました。懇親会では、現役グリークラブの生徒さんの素晴らしい正信偈合唱等に拍手喝さいが続きました。また6年間、同窓会のご指導に力をそそがれた大本和則会長が退任され、新会長には51年卒の山本千曲様が就任されました。大本前会長には

7月5日(金) 18:00より本郷三丁目に集まろう。

都心に近く、騒音に遠く交通至便の所
優雅・閑静本郷唯一の
全日本シティホテル連盟員
日本観光旅館連盟員

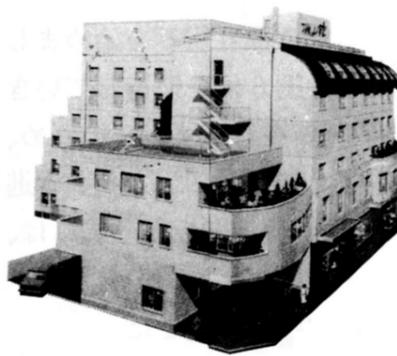
ホテル機山館

代表取締役 重本 康成
(昭和48年卒)

株式会社 機山館
〒113-0033
東京都文京区本郷4-37-20
TEL (03) 3812-1211(代)
FAX (03) 3816-1218



最新の設備を整えた宴会室。
大小5a所の部屋(5名~150名収容)をご用意。
照明、音響など、これをとっても重厚かつ格調ある空間づくりです。
会議室としてもご利用いただけます。



地下鉄丸の内線・大江戸線本郷三丁目駅より徒歩2分 本郷三丁目交差点角交番横に入る



「顔のみえる同窓会」をめざし本当に長い間お世話になり厚く御礼申し上げます。また山本新会長には引き続き宜しくご指導賜りますようお願いいたします。本年3月の近畿崇徳会の総会には私と瀧口副会長が出席しお祝いを申しましたが、会場には37年卒の甲子園野球に出場の村本勝様が日刊スポーツ社退任後に本格的な油絵に転換され日本美術協会の「日本の自然を描く展」に09&10年連続して入選された世界のイチロー選手の絵や王貞治選手の一本足打法の絵が展示され母校の幅広い文武両道の素晴らしさを味わいました。関東支部では、昨年2月に第66回芸術祭賞の優秀賞を44年卒の古今亭菊丸師匠が授賞されお祝いをし、また夏のロンドンオリンピック出場の明大卒直後の柔道100kg超級の上川大樹君をみんなで応援しましたが、残念ながら二回戦迄で、次のブラジルに期待したいと思います。1月の東京広島県人会の総会では同窓の24年卒岩部金吾副会長が元気に乾杯の音頭をとられ、柳家福治師匠等も出席され、会場が盛り上がりました。

執筆では高橋乗宜理事長が浜矩子教授との共著「2013年世界経済総崩れの恐れのある年になる」（東洋経済）ではグローバル経済の中での日本の里山資本主義と地域技術の重要性を指摘されるのが注目されます。第一の開国の明治維新は老中首座福山藩主阿部正弘の日米和親条約と毛利元就子孫の敬親や松下村塾生の下士階級革命が基本であり、第二の開国は戦後の原爆被災等の復興と池田首相の所得倍増計画による経済成長と海外進出が基本でした。さて第三の開国のアベノミクスは海外との交渉力と技術力の強化の具体化です。さて昨年12月「崇徳・むねのり・ムネちゃん」と命名された赤ちゃん、山田まりや（本名草野）さんの長男のご誕生が報道されました。みなんでお祝いし楽しいご成長を見守りましょう。佛説無量寿経の説く「崇徳興仁・務修礼讓」は、仏の遊行される所は天下和順し国は豊かで民安くして、兵器は不用で、人々は徳を崇び人の道を興し、礼儀や秩序がしっかりとしていると、西本願寺第21代の明如上人による母校の名称の由来は皆様ご承知の通りです。また明治天皇は、孝明天皇ご逝去で慶応3年1867年1月踐祚されましたが68年の正式な即位の前に、保元の乱で御座の第75代崇徳天皇の四国讃岐の白峰御陵（坂出市青海町）に院の命日の8月26日に勅使大納言源通富を派遣し「天下安穩の実現の御助力のため」京に新築の白峰神宮（上京区今出川通り堀川）への御帰還をお願いし、即位の礼は翌日27日に挙行し、9月6日に勅使同行の御輿でその神霊が京に御座され、翌々日9月8日に「明治」と改元され明治維新が完成した経緯もありました。先般の親鸞聖人750回御遠忌の西本願寺の大谷光真御門主のお言葉は「世のなか安穩なれ」でした。

次に、残念なことですが、関東同窓会で長年にわたり代表幹事としてご指導いただき23年卒の島原昭士副会長が8月ご逝去されました。7月の関東総会の懇親会では元気に締め御挨拶をされていたのに誠に残念で、ご冥福をお祈りします。お通夜と御葬儀には多くの同窓の方も参加しお見送りしました。10月には地元古河市の浄土真宗西本願寺系の長命寺で渡部瀧口重本光若さんとともに「俱会一処」と真宗の真髓が筆されたお墓を参拝し佐野徹住職ともお話しできました。代表幹事の後任は、島原さんとラグビー部がご一緒で明治大で全国大会にもご出場のスポーツマン24年卒の副会長渡部明彦様のご就任が、12月の島原さんを偲ぶ会の後の幹事会で決まりました。渡部新代表幹事には宜しくご指導をお願いします。また近畿崇徳会の内田信会長が3月末にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

さて我々同窓は、新しい社会づくりや地域づくりに家庭、地域、学校での総ぐるみの中で、経験の語りや行動で積極的に「絆」社会の構築に参加しましょう。同窓会は母校への思いを基礎に「青壮老」全員参加です。学生さんも、現職の方も、会社を卒業され地域や孫教育や趣味やスポーツに意欲的に参画されている方も、是非積極的に御参加下さい。ゴルフ会も活躍中です。幹事への自薦他薦大歓迎です。幹事会は渡部代表幹事、瀧口総括、重本局長のご指導の下、年5回程度です。「崇徳応援旗」もあり、必要なときは一緒に応援に駆けつけましょう。 合 掌

新時代の崇徳教育をめざして

崇徳学園理事長

高橋 乗宜

今年、寒暖の差がとても大きい日々を繰り返しながら季節が推移し、服装選びにも苦勞する状態でしたが、今は初夏を迎え、早くも真夏日や熱帯夜が現出しております。とりわけ関東以北の地域では気候変動がとても激しい様子でしたが、崇徳同窓の皆様にはお変わりなくご健勝のことと拝察し、お喜び申し上げます。

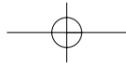
さて、21世紀に入ってグローバル化の流れが激しく進行する一方で、日中、日韓の関係がいずれも齟齬を来して、歴史認識が厳しく問われる情勢となっております。国内では、20年近く続いているデフレからの脱却が急務となっております。そのために新政権が打ち出した奇策によって、円安・株高の局面となっておりますが、实体经济のエンジンが成長に向かって起動しなければ、バブル再現の懸念が強まります。

グローバル化による影響は、当然、教育界にも及んでいます。90年代末からの「ゆとり教育」は廃され、高校教科書の内容が2割も増えることになりました。日本国内の大学においても、日本人学生と外国人留学生在が互いに切磋琢磨する時代になっており、とても「ゆとり」どころではないのです。

こうした時代の崇徳教育を、どのような方向へ展開するべきか、このことが大きな課題であり、学園が一体となって取り組んでおります。これまでのように、進学実績の向上を追求するだけでは時代の要請に応えることはできません。『崇徳興仁』の理念をもって、「国の内外の隔てなく」はばたくことができる人材を育成することが最も肝要であります。

教職員の皆さんの弛まぬご尽力によって、この少子化時代にあっても全校で1400名と、概ね理想的な生徒数を確保できています。一時は財務の悪化傾向を憂慮しておりましたが、近年はほぼ理想的なバランスを取り戻しています。そこで、いよいよ新時代への対応に注力しなければなりません。

このことに取り組むについても、同窓の皆様方のお力添えが不可欠であり、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



健康・誠実・精進・感謝 いつも4綱領の実践をめざして

崇徳中学高等学校 校長

吉田 義視

雪が多くて寒かった冬を抜けて、早めの桜に気持ちを高ぶらせた春は巣立ち行く卒業生と新たに迎えた新入生の交代劇の季節でした。その高ぶりも鎮まって、初夏は若者が大いに伸びゆく季節、新入生たちはようやく自分の足で歩き始めたようです。

同窓生諸兄にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。光陰矢のごとし、ほんの先日に関東支部総会でお目にかかったように感じますのに、みなさまにお目にかかれるその総会が今年も巡り来る頃になりました。同窓生のみなさまには日頃から後輩諸君へまた母校崇徳に多大なるご支援とご協力をいただき、心から感謝しますとともに厚く御礼申し上げます。

さて、世の中の変化がめまぐるしく、政権が交代したり肝を冷やすような様々な事件が毎日毎日マスコミに取り上げられる日々ですが、広島の中学生・高校生の世界は少しその喧噪を離れているようです。現役生諸君はじっくりと落ち着いて勉強にクラブ活動に取り組んでいます。その生徒たち、今春の崇徳の新入生は、中学校が87人と再び90人3学級の“のぞましい形”にさらに近づきました。高校も前々年・前年を少し下回りましたが398人と400人にあと2人でした。高校は、昨年の会報でお知らせしましたのと同じく、今年も各学年が12クラスで揃っています。2年連続の好ましい姿です。生徒総数は1468人でのスタートです。施設設備や教職員の状況から、私が“理想形”としますのは1500人の45学級ですから、もう少しです。

昨年、広島の観光キャンペーンに“おいしい〇〇”というのがありました。例えば“おいしい広島レモン”のように。広島空港にも大きなポスターが貼られていたので、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。12月から今年の1月末ごろまで、その中に崇徳生の作品がありました。10数枚が空港ロビーに展示され、母校の宣伝にも一役買いました。よいものなのだが世間の知名度がいまひとつ、というものを取り上げる形式でのキャンペーンポスターでしたが、時を同じくして、崇徳にも“おいしい”ことがいくつかありました。新入生398人も期待値にあと2人ですから“おいしい”です。今春の国公立大学合格者数も48人で50人にあと2人で“おいしい”です。それでは、全国優勝、チャンピオンは出ませんでしたが大活躍をしてくれた、これも“おいしい”崇徳のクラブ活動年間戦績と今春の大学合格状況をご報告します。

H24年度のインターハイは北信越（北陸3県と新潟・長野）でおこなわれました。柔道81kg級香川健吾は3位、100kg級北岡宏樹は5位でした。バレーボールは準々決勝で東京の東亜学園と戦い1：2で惜敗してベスト8。その他インターハイ出場クラブは剣道部、弓道部、ボクシング部、体操部、自転車競技部の合計7クラブでした。岐阜国体では弓道近的が惜しくも準優勝、バレーボールが本校選手主体で4位、ボクシングウェルター級で原田直樹が2位、自転車競技ポイントレースで海老本拓也が5位、他に体操部が出場しました。春の選抜大会は、1月のバレーボールが1回戦で長野日大に1：2で競り負けましたが善戦しました。3月にはボクシング部（茨城県）と柔道部（山梨県）が出場しました。これら3大全国大会の他に、バレーボール部では10月、イランのテヘランで開催されたアジアユースに顧問本多先生が日本チーム監督として平田選手とともに出場し、銅メダルを獲得。今年の世界ユース（開催地メキシコ）に出場します。また、気を揉ませ続ける硬式野球部は秋季県大会で何と35年ぶりの優勝を果たしましたが、“おいしい”ことに中国大会で広陵に敗れてしまい、夢の甲子園には届きませんでした。

文化系のグリークラブは県内各所の催しへの出演依頼が引きも切らない好評ぶりですし、文化系・スポーツ系を問わず他のたくさんのクラブ、また中学校の部活動も隆盛いちじるしいところです。生徒諸君の頑張りや顧問の熱心な指導そして保護者の絶大な協力あってのことであり、同窓生のみなさまからのご声援ご支援が厚きことに心から感謝しております。

大学合格でも後輩諸君はよく頑張りました。前述のように国公立合格者は48人、難関私大合格数も昨年を上回りました。しかし、今春も不況風は保護者にとって厳しいことになり変わらぬようで、首都圏・近畿圏のいわゆる“生活費がかかる地域”への進学者は前年にも増して少なくなっています。国公立など近畿以東は僅かに4人、逆現象で地元大学への進学者は増え続けています。広島修道大・広島工大の合格者数は100人に近づいているような状況です。

今回も在校生・卒業生のこの1年間の様子をご報告しながらのご挨拶となりましたが、同窓生のみなさまには暑さの厳しくなる時期に向けていっそうご自愛下さいますとともに、今年もますますのご支援ご声援を頂きたく重ねてお願い申し上げます。

BX
文化シャッター



心をこめた
製品づくりをしています

たとえば、ゲリラ豪雨による浸水対策として開発した「止めピタ」。「使う人が無理なくスピーディに設置できるためには…？」お客様視点の問いが、急な増水にも立ち向かえる製品の“強み”となりました。これからは文化シャッターは「For You」の発想で製品をお届けしてまいります。



簡易型止水シート(シャッタータイプ)
止めピタ

軽量で簡単に設置が可能。シャッターに取り付けるシート状の浸水対策です。

文化シャッター株式会社
〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3
TEL.03(5844)7111

代表取締役会長
岩部 金吾 (S24年卒)



SOTOKU

第22号

2013年6月

取締役会長

瀧口 裕行 Hiroyuki Takiguchi

株式会社 アルファワールド

〒194-0032 東京都町田市本町田197-10
TEL. 042-812-3005 FAX. 042-812-3005
E-Mail jose-hiroyuki@ab.auone-net.jp



中国醸造 お酒は20歳を過ぎてから。
54年卒 光若 由啓 電話 03-5475-6051



この度、弊社工場は自主的な衛生管理を推進すると共に、一定水準以上の食品衛生管理を行っていること認められる施設として、広島県食品自主衛生管理認証を取得致しました。

株式会社 山豊

〒731-3196 広島市安佐南区沼田町伴 79-2
TEL 082(848)7778(代) FAX 082(848)2334

0120-311238

URL <http://www.yamatoyo.co.jp>
e-mail y-info@yamatoyo.co.jp

会長 山本 豊 (昭和19年卒)
代表取締役 山本 千曲 (昭和51年卒)

心のこもった旬の広島菜漬「安藝菜」を、大切なあの方へ...

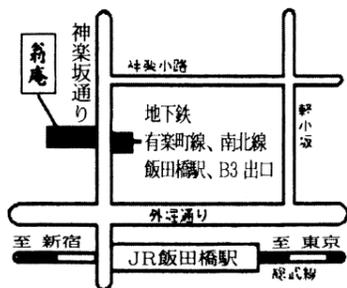


内閣総理大臣賞受賞
農林大臣賞受賞
農林水産大臣賞受賞
H.14 S.50 S.46

あきな 安藝菜

おきか 庵翁心亭生

東京都新宿区神楽坂1-10 アイゲビル
PHONE 03-3260-2715



噺家

柳家 福治

電話 FAX 五十年卒 本名 山中英嗣
03-5372-1802

古今亭 菊丸

電話 FAX 四四年卒 本名 占部正夫
03-3845-4179
Email Ushino@aol.com

パーティ・結婚式の司会・余興
ゴルフ・旅のお供
引越しの手伝い
落語会等、その他何でもお電話ください。

崇徳学園関東支部 役員名簿

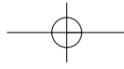
顧問	S16	西村 克哉	幹事	S44	占部正夫(古今亭菊丸)
名誉顧問	S24	岩部 金吾	幹事	S44	幸田 俊三
会長	S33	黒川 弘	幹事	S48	重本 康成
副会長	S24	渡部 昭彦	幹事	S50	山中英嗣(柳家福治)
副会長	S29	瀧口 裕行	幹事	S50	三雲 龍範
副会長	S35	小笠原 眞二	幹事	S51	藤井 康司
副会長	S37	柄林 範邦	幹事	S52	應武 篤良
副会長	S46	室崎 宏治	幹事	S52	榊田 基裕
幹事	S34	井原 文之	幹事	S54	光若 由啓
幹事	S36	重元 喜彦	幹事	S54	上平 義治
幹事	S40	浅辺 正	幹事	S55	川崎 哲司
幹事	S40	喜多村 能照	幹事	S55	田村 淳
幹事	S42	上村 彰	幹事	S61	武田 義博

広島お好み焼 広島っ子

〒162-0821 新宿区津久戸町1番地12号 中村ビル1F
TEL. 03-3260-5888

電話注文・お持ち帰りも出来ます。





新任同窓会会長としてのごあいさつ

崇徳学園同窓会会長

山本 千曲

関東支部の同窓の皆様、平素は何かとご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年11月9日にANAクラウンプラザホテル広島にて盛大に開催された、平成24年度崇徳学園同窓会総会にて、138年の歴史と伝統ある崇徳学園で会員3万名を超える同窓会の会長職を、大本会長の後任として勤めさせて頂くことになりました、昭和51年卒業の山本千曲と申します。

浅学非才の私が大役を仰せつかり、改めて事の重大さに身の引き締まる思いと同時に責任の重さを痛感しております。しかしお受けさせていただきました以上、「徳を尊び、思いやりの心を興す」という「崇徳興仁」の精神で誠心誠意頑張っている所存でございます。幸いにも、同窓会には多くの先輩方が築いてこられた素晴らしい実績がございます。奥田元会長は、任期中に学園の創立130周年の節目において、新しい時代の崇徳を感じ取られ、積極的な改革の中、「学園への永続的なサポート組織」目指されました。大本前会長が引き継がれてからは、「顔の見える同窓会」として、PTAとの懇談会や崇徳祭への出店により、同窓会の存在感を大いにアピールされ、更には総務、財務、親睦、広報の四委員会を設置することにより活性化を図られました。

私としてはこれまでの素晴らしい活動を踏襲しつつ、これから2つの目的を持って活動して参りたいと存じます。まず一つ目は、文武両道の母校の教育振興を資する目的である奨学金制度による生徒への助成、またクラブ活動への激励費奨励費としての補助、そして芸術鑑賞への補助など現役生への出来るだけのサポートを行って参ります。二つ目には、今まで以上に行動範囲を広げ、各支部はもとより各クラブOB会にも出向かせていただき、皆様方からのご意見やご要望をしっかりと伺いし、できる限り同窓会に反映させ、より多くの皆さん方との親睦が図られ誇りのもてる母校発展のために寄与していく事です。その結果により、より一層存在感のある同窓会をめざして頑張る所存です。

最後になりましたが、これからの学園の発展と関東支部の皆様方の益々のご健勝を心から念じ並びに同窓会へのますますのご支援を心からお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

硬式野球部近況報告

硬式野球部顧問

竹井 孝吉

硬式野球部は、新入部員を迎え110名の部員が在籍し甲子園出場を目指して活動しています。昨秋の県大会では35年振りの優勝を果たし、山口県で開催された秋季中国地区野球大会に出場しました。一回戦は春夏甲子園に出場した鳥取城北高校を8対4で破ったものの、二回戦では同県対決で広陵高校に1対7で敗れ、あと一步のところまで20年ぶりの春の甲子園選抜大会出場を逃してしまいました。

現在はOB会・保護者会の御支援をうけて、週末には少しずつ整備が進む入野グラウンドで練習を行っています。「当たり前」を当たり前」を指導方針に技術面の向上だけでなく、野球を通じて人間性を高めつつ、念願の甲子園出場を果たしたいと思えます。

同窓生のみなさまには、いつも球場まで足をお運び頂いて、熱い応援を頂き、硬式野球部一同、深く感謝しております。今後ともよろしく願い申し上げます。

崇徳高校ボクシング部の近況報告です

崇徳高校ボクシング部顧問

松尾 耕司

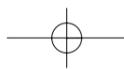
(昭和58年卒)

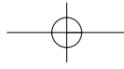
ボクシング部は2012年度現在、13人が所属しており、第二体育館ボクシング道場で活動しています。毎日の練習は、約3時間、ジムワークとして、縄跳び、シャドーボクシング、ミット打ちやサンドバッグ打ち、マスボクシング（パンチを当てないスパarring）などをして、その後、大芝ランニングコースを1周するなどのロードワークをしています。

部では「自分で考える」ことをモットーとし、やらされる練習ではなく、なぜこの練習をやるのか、勝つためにはどうすればいいのか、を自分で考えるように指導しています。その結果、広島県総体では5連覇、全国大会でもここ7年で7回優勝という成績を取ることができました。

生徒が目標を達成したときの笑顔は本当に輝いています。生徒たちがこういった笑顔になれるような指導をこれからもしていきたいと思えますので、応援よろしく願いいたします。

以上、よろしく願いいたします。





ワールドカップが日本で開催

関東支部幹事
上平 義治
(昭和54年卒)

今、埼玉県熊谷市で執筆しています。第14回全国高校ラグビー選抜大会の会場です。年末年始に大阪花園で行われる全国大会以外に、野球と同じような春の選抜大会が行われているのです。2年前の2011年2月に崇徳学園の出場が決まったのですが、その実行委員会に私も出席していました。委員会は高校の先生で構成されているので珍しいケースです。10年間出場していない等の推薦条件がある中、強豪もたくさんありましたが、初出場の権利を推薦枠で崇徳学園が得ました。東日本大震災の影響により大会は中止となり観戦することは出来なかったのが、2回目の出場を早いうちに実現出来るよう引き続き応援致します。

ラグビーは、吉田義視校長が私の担任だった1年生の時から始めたのですが、徳永先生、田賀・清水両コーチを始め、多くのOBや同輩の力添えにより心身共に鍛えて頂きました。これらの経験を多くの方へ知って欲しいとの思いで続けています。さて、東京に来て29年目となります。流石に毎日とはいきませんが、週3回以上はラグビーに関わる活動をしていました。ラグビーでは「ノーサイド」「One for All, All for One」などの言葉が代表されるように、激しく戦った後でもお互いの健闘をたたえたり、自己犠牲、あるいは審判が一人であることから正々堂々ベストを尽くし勝っておごらず負けて清く、などの精神を教えてもらいました。それらの経験をとの気持ちで一杯なのです。小学校の教科書にも「ラグビー」の文字が加わることとなりました。また、小学生の全国大会も開催されるようになりました。もちろん、こちらへも支援させて頂き、愚息も出場を果たしました。中学生の全国大会も選抜や単独チームとして開催されています。もちろん、こちらも運営面や監督として、または我がチームを出場させることで協力することが出来ました。現在では地域貢献をとの思いから、社会人であるクラブチームへの支援も行っています。12万人いる競技人口の支援を更に続けていきたいと考えています。

そのラグビーが、2016年の夏季オリンピックから正式種目となりました。実は1900年以降、4回採用された歴史はありますが、あまり知られていません。但し、今回は7人制。また、2020年東京開催が9月に決定すれば、先に決定しています2019年ラグビーワールドカップと連続して国際大会が行われることとなります。5月には競技場として候補する為の条件が提示され、各地で誘致・招致が始まります。尚、キャンプ地については2015年のイングランド大会を見て改めて条件提示される予定です。実は、2011年も日本として招致活動をしたわけですが、その時、ワールドカップ日本招致委員会に私は在籍しておりました。成否決定された深夜には大変残念な報告を受けたことを思い出します。是非とも2019年ラグビーワールドカップを成功裏に結びつけると共に、その大会に崇徳学園出身選手が出場することを切に願うものです。

そんな思いが、今住んでいる東京に居ても実現出来ればと、長らく普及育成活動にも携わっています。上京してからすぐ始めた中学生を主にした指導も、幼児・小学生やレディースへの指導に広がりました。女子については目標がオリンピックも加わる前ではありましたが、ヘッドコーチを2年行い、その時の選手が現在では指導者として、あるいは運営面のサポートを含め活躍していることに誇りをもっております。また、現在は女子日本代表を多く輩出しているレディースの指導者をしております。多くの情報を集められ、自発的に行動出来る大人が多いので手間はかかかっていません。

OB総会は昭和63年から始まったかと思います。参加は当時から長年継続させて頂いていますが、同日にラグビー合宿のメッカである菅平にてクラブ大会が行われる際は運営側として参加することで東京不在の為、やむ無く欠席させて頂いています。最近、感じることは新しい参加者が増えないことです。日頃の視点と違う、もしくは関東や崇徳の近況を少しでも得られる場であるので是非とも参加をして欲しいものです。

社会福祉法人三篠会 高齢者福祉施設 神楽坂

施設長 **武田 義博**(S61年卒)

東京都新宿区矢来町104(東西線神楽坂駅目の前)

TEL(03)3269-7555 FAX(03)3269-7553

e-mail:misasa_kagurazaka@yahoo.co.jp

http://www.misasakai.or.jp

法人本部

広島市安佐北区白木町井原1244番地

